

第 7 回 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会資料

平成 2 9 年度アクションプラン実施内容報告書

平成 30 年 2 月 9 日

志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会事務局

平成29年度 水源地域ビジョン実施内容

☐ 後期実施予定プロジェクト

黒字:継続内容
赤字:H29新規内容

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H29年度 実施計画	H29年度 実施内容	H29の総括・ポイント		
1. 美しいふるさとづくり	Ⅰ. 水源地域の景観形成	1. 水源地域の景観向上	①	早期	河川と道路の景観保全活動	1. 志々の景観を守り育てる会による除草(継続) 2. 企業CSRの継続	1. 企業CSR(11/4、24団体、119名) 2. 企業CSRと合わせてクリーンウォークを実施 3. 田舎体験と合わせて草刈り研修を実施	●除草と企業CSRの活動は年々参加団体が増えており、中期では100名を突破(H26:73名→H27:95名→H28:112名→H29:119名) ●除草と企業CSRの活動には島根県、雲南市、さくらおろちなど関連機関も参加し、イベントとしての定着を見せた。 ●除草と企業CSRの活動場所が、うぐいす茶屋周辺に特化されているので、年により違う場所(神戸川沿川など)の除草を検討してもよい。 ●家畜の放牧では、今後の継続に向けた方針を検討した。牛の場合は課題も多いため、当面はヤギや羊の活用を検討する。 ●夏の花の検討では、ひまわりの採用を検討してみたが、ポピー／コスモスと同じ場所では育てられないため、他に場所を見つけるか、ポピー等の一部をひまわりのエリアにするなどの対応が必要になる。 ●ライトアップは中期で定着を見せ、紅葉の規模も少しずつ大きくなってきているが、光が暗いとの意見もあり、今後は光の当て方や見せ方の検討を行っていく。		
				早期	クリーンウォーク(景観保全活動に含む)	1. 企業CSRの中で実施を継続				
				早期	草刈り研修会(景観保全活動に含む)	1. 男女が参加できる研修会を実施				
		2. 牧歌的な風景づくり	②	早期	町有林による景観美化	1. 環境学習の場の運営方法の検討及び整備に必要な事項を整理 (現状確認のための現地調査を実施)	1. 継続的な家畜の放牧について検討			
				3. 四季の彩りフラワーバレー	③	中期			家畜の放牧	1. 試行的に実施した牛の放牧の継続(荒廃防止の観点も踏まえ河川区域内での実施を検討、糞尿による環境問題の整理) 2. 乗馬体験の実施に向けた検討、調整
						中期			夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出	1. 紅葉も楽しめ、大粒のギンナンも期待できるイチヨウ植栽を検討
		3. 四季の彩りフラワーバレー	④	中期		フラワーバレーに山野草鑑賞エリアを整備	1. 志々を元気にする会において検討		—	
				④	早期	彩りの森の紅葉をライトアップ	1. ライトアップの継続実施(紅葉祭りとの連携) 2. 志津見ダムとの連携(ダムのライトアップを同時期に実施) 3. 夜カフェ等の実施を検討 4. 他ポイントでのライトアップも検討(点から線的、面的な広がり)		1. 紅葉祭の開催(11/4-5、169名) 2. 志津見ダムのライトアップ(11/3-26)	
					中期	一軒一鉢運動を展開	1. 志々を元気にする会において検討		—	
			Ⅱ. 自然環境の保全活用	4. 神戸川エコロジカルネットワーク	⑤	早期	子供向け環境学習会の実施 ・水生生物による簡易水質調査の実施 ・自然観察会 ・山の恵み学習会		1. ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画 2. 下流域住民の参加増を目指す 3. 川遊びをしながら学ぶような企画を検討	1. 森の学校サマーツアーの実施(8/5-8、15名)(自然体験、ダム見学) 2. ヤマメの生態調査にあわせ、地域住民と交流ができる行事を企画(イベント時のヤマメのつかみ取り)
	⑥	早期				水辺で遊べる場づくり(既存施設の活用)	1. 水辺利用者との意見交換会の継続 2. 河床整備、除草等適正な管理を行う	1. 意見交換会(“水辺で乾杯”後)(7/7)	●「水辺で乾杯」というイベント名が地域で定着しつつある。今後は子どもたちが参加しやすいイベントになるよう検討を行っていく必要がある。	

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H29年度 実施計画	H29年度 実施内容	H29の総括・ポイント
2 ・ 明 ふ る く 元 気 づ く り か な	Ⅲ ・ 水 源 地 域 の 活 性 化	5. 神戸川「川の駅」づくり	⑦	早期	青空市の活性化	1. 販売コーナーの商品を充実させる 2. 加工品の種類の充実を図る	1. うぐいす茶屋販売コーナーの商品の充実 2. 加工品の種類の充実 3. 志々公民館で加工品に関する講習会を実施(10/13)	●加工品の種類の充実では、開発する加工品の検討や加工品に関する講習会を実施した。今後は他地区への出荷や出張販売も見据えて売れる商品を開発していきたい。 ●ダムカレーはうぐいす茶屋で週末限定で通年販売を開始した。 ●ダム貯蔵酒は500本を貯蔵したが、ポピー・コスモス祭で販売できなかった。今後は、ダム貯蔵酒試行計画を見直し、ダム貯蔵酒の試行を継続する。 ●イメージキャラクターの活用として、うぐいす茶屋に「くにびきくん」の写真撮影用の顔出しパネルを設置した。訪れた客が写真を撮っている。 ●地域懇談会としては、クラインガルテン歓迎会、庵まつり、公民館まつり、志津見収穫祭、昭和少年少女のつどい等が定着している。今後は、地域全体が集まる懇談会や、陽サロの後の懇談会の開催を検討しても良い。 ●今後の志々地区を担う中年層の働きを促すため、きっかけ作りの集まりを企画することが必要。
			⑧	中期	憩いの場の充実	1. 「志々さくら広場」を活用したキャンプなど、町内外の憩いの場として検討 2. 伐採木を活用したベンチ、積み木の製作(増設)	1. 町内の憩いの場として「志々さくら広場」を活用 2. もみじ管理169名(前年193名) 3. もみじの植栽(319本)(補植289本含む) 4. 神戸の森へアジサイ植栽(350本)	
			⑦	中期	特産品の開発	1. ダム貯蔵酒を通じたビジョンの理解促進、特産品化を目指した継続実施 2. ダムカレーや漬物、缶パッチ、豆腐スイーツ、ヤマメの押し寿司など、これまでの成果を活用した試験販売(イベント限定、期間・季節限定等)	1. ダム貯蔵酒の貯蔵(500本) 2. うぐいす茶屋でダムカレーの通年販売(週末限定) 3. 地域おこし協力隊による特産品開発	
		6. 地域コミュニティの強化	⑨	早期	地域懇親会の開催	1. 地区全員が出られる機会をつくる 2. 取組に対する情報共有 3. ダム資源や素材(駐車場など)の有効活用を検討 4. ビジョンそのものの認知向上、理解促進のための方法を検討	1. クラインガルテン歓迎会(4/15、98名) 2. 庵まつり(7/15、260名) 3. 志々公民館まつり(8/26、250名) 4. 志津見収穫祭(11/18、103名) 5. 昭和少年少女のつどい(2月24日予定)	
			⑦	中期	七夕祭り	1. 水辺で乾杯の継続化(七夕イベントとしての継続)	1. ”水辺で乾杯”(7/7、32名)	
		7. 志津見湖のイメージアップ	⑩	早期	イメージキャラクターの活用(地域懇親会テーマ)	1. 地域懇談会で利用に対する議論を行う 2. 看板、広報物へ掲載しPRを行う	1. うぐいす茶屋に「くにびきくん」の顔出しパネル設置(8/12)	
		8. 自然に優しいエコ活動		中期	水源地域の自然に優しいエコ活動の展開	1. い〜にゃん森の恵み林活プロジェクト、緑の分権改革推進事業など町の事業と連携しつつ、内容を検討。 2. 伐採した樹木の活用を検討	1. い〜にゃん森の恵み林活プロジェクト、緑の分権改革推進事業など町の事業と連携しつつ、内容を検討 2. 伐採した樹木の活用を検討	
	Ⅳ. 地域の有する歴史文化の継承	9. 伝えようふるさとの歴史と文化	⑪	早期	食文化伝承レシピの作成	1. 家庭の味まつりを引き続き開催する 2. 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討(イベント時など)	1. 第13回家庭の味まつりの開催(11月25日、70名) 2. ポピー／コスモス祭にて、食文化伝承レシピ関連の商品を販売	●家庭の味まつりは継続し、「食」に関する伝承、活用は維持して行くべきである。従来の参加者の高齢化により出品者数の減少が見られるので、対策を考えていく必要がある。 ●今まで見る機会がなかった遺物は、さつき会館での通年展示を開始したが、説明できる人がいないという課題がある。
			⑫	後期	遺物の展示	1. 志々エリアで出土した土器などの活用の検討	1. さつき会館フロアーにて通年展示を開始(5月中旬～)	
			⑫	早期	民具の展示	1. うぐいす茶屋で引き続き展示 2. イベント等での展示を行う(民具の実演等展示に工夫)	1. うぐいす茶屋にて通年展示	

基本方針	テーマ	分類	資料NO	実施時期	アクションプラン	H29年度 実施計画	H29年度 実施内容	H29の総括・ポイント
3・人が集まるふるさとづくり	Ⅴ. 水源地域のPR	10. 水源地域の修景		中期	サインの設置による水源地域の明示	1. 水源地域のPR用看板の検討	1. 手づくり見どころ案内板と合わせて検討	●水源地域の明示としては、手づくり見どころ案内板の設置を積極的に行っている。
				中期	草花・花木植栽による水源地域へのゲートづくり	1. うぐいす茶屋で展開しているプランターでの花の創出の継続、拡大 2. 一軒一鉢活動との連携	—	●水源地域へのゲートづくりは、飯南町の花いっぱい運動や、花や苗への補助制度と重なる部分もあるので、これらの制度の活用も視野に入れて検討を進める。
	Ⅵ. 上下流の交流	11. 湖畔イベントの開催	⑬	早期	ポピー祭・コスモス祭開催	1. ポピー／コスモスの維持(肥料の投入量を増やし地力の回復を行う) 2. ダム見学会、巡視体験等引き続き実施 3. 地元住民向け巡視体験会の継続 4. イベント自体のマンネリ化の防止(参加型企画等の継続)	1. 巡視体験、ダム見学会の実施 2. 豪雨体験の実施 3. フラワーバレー会場にて治水事業のパネル展示 4. イモリ釣り体験の実施 5. アンケートを実施し、来訪特性や満足度などを把握(来場者 ポピー祭:約4,300人 コスモス祭:約5,600人)	●ポピーやコスモスは、肥料を増やす等の対応を行っているが、依然「花が少ない」という意見が挙げられる(アンケート調査結果)。今後も花の増加に向けた検討を継続していく。 ●ポピー／コスモス祭は、例年出雲市、雲南市、大田市からの参加者が7割程度を占めており、来客数の増加を図るならば町内への広報を強化する必要がある。 ●ポピー／コスモス祭の開催に合わせ、「イモリ釣り体験」を実施している。「何匹以上釣ればお菓子が貰える」との催しを行い、ポピー祭では雨天の中で参加者70名以上と非常に人気があった。
				後期	野外コンサート	1. 若者や愛好家など「やりたい事」を実現するイベント企画を検討	1. 頓原中学校吹奏楽部による野外コンサート(コスモス祭で実施)	
				後期	ナイトバザール	1. 若者や愛好家など「やりたい事」を実現するイベント企画を検討	—	●志々ファンクラブは、継続してイベント情報の発信を行っており、H29は島根大学の学生が「飯南町獅子地区」のフェイスブックを立ち上げ、情報発信を強化した。今後は、志津見地区のイベント日程の早期発信や、フォロワー増のための情報発信の強化を図る必要がある。
			⑭	早期	志々ファンクラブ	1. 積極的な情報発信の実施 2. 会員の具体化の検討を行う(若者や愛好家の参加促進)	1. フェイスブックによる情報発信 2. ゴールデンウィークの企画として、「R184新緑祭」を実施(5/3-5)	●シンボルオブジェ作りでは、かかしコンテストの実施に向けた検討を継続していく。
				早期	シンボルオブジェ作り	1. 「かかし」による地域の魅力向上と交通安全対策の検討	1. かかしコンテストの検討	
			⑬	早期	湖面巡視体験	1. イベント以外で地元住民向けの体験会の継続	1. 湖面巡視体験(ポピー／コスモス祭等で実施)	
		12. 湖面イベントの開催		早期	カヌー教室(PTA対象)	1. 愛好家との現地(適地)調査・意見交換会の開催	—	●ポピー／コスモス祭等のイベント期間中の巡視体験は、地元の人イベント対応のため参加できないため、地元向けのダム見学の機会の創設を検討していく。
				中期	カヌー教室(一般対象)	1. 愛好家との現地(適地)調査・意見交換会の開催	—	
				後期	魚釣り大会	1. フラワーイベント時の開催を検討	—	●ラジコンボートの操縦体験は継続して行い、定着を見せた。またコスモス祭では体験コーナー付近に、記念撮影用のカートを設置し、写真撮影のスポットとして人気が出た。
			⑮	中期	ラジコンボートレース大会	1. ラジコンボート操縦体験の試行実施の継続	1. ラジコンボートの操縦体験(ポピー／コスモス祭で実施)	
		13. 志々のみどころ紹介	⑰	中期	手作り見どころ案内板	1. 志々地区内の史跡の手作りによる案内板の作成、設置	1. 手づくり見どころ案内板の作成、設置	●志々公民館と飯南町が主導し、元気にする会と活性化委員会の意見を聴取した上で「八福神マップ」を検討・作成した。今後は2,000部を印刷し、地区のイベント等での配布など、地元の人を巻き込んだ活用を行う。また、外部から人が訪れるツールとしても活用していく。
			⑰	早期	マップ(パンフレット)づくり(地域懇親会テーマ)	1. 地域懇親会の意見を踏まえ対応	1. 八福神マップの作成 2. 八福神マップの素案を用いた八福神めぐりサイクリングイベントの試行(11/13、10人) 3. 八福神紙芝居の作成	●手づくり見どころ案内板を設置した上での「八福神めぐりサイクリング」では、地元の間でも八福神ゆかりの場所の位置が分からない場面があった。今後は八福神ゆかりの場所や地元の名所(大イチョウなど)について、案内板の設置などを検討していく必要がある。
			⑯	早期	フォトコンテストの開催	1. 年間を通した募集を引き続き行う 2. 応募数が減少しているため町内PRを強化	1. 年間を通じた募集 2. コンテスト入賞作品の展示機会の創出を検討	●フォトコンテスト入賞作品は、ポピー祭での展示後は日の目を見る機会がなかったことから、入賞作品の展示機会の創出を検討した。今後は公共の施設等で期間を限定して展示を検討していく。同時にコンテスト作品募集のチラシも一緒に掲示することで、コンテストへの参加促進を図る。
			⑱	中期	田舎体験	1. 田舎体験プログラムの他地区展開	1. ダム見学・田植え体験(5/3-5、13人) 2. 草刈り体験・獣害被害の見学(7/30、11人) 3. 稲刈り体験・観光施設見学(9/9-10、9人) 4. 獅子田舎体験の活動報告会(1/21開催、28人)	●獅子地区における田舎体験は、懇親会などで地域住民との交流も深め、定期的なイベントとして定着を見せている。田舎体験への参加をきっかけに、島根大学の学生が志々地区のイベントへ参加(運動会:8名、志々乃村神社の例大祭:7名)してくれるようになった。 ●しばらくは獅子地区でノウハウを積む必要があるが、将来的には他地区への波及を検討していくのも良い ●田舎体験では、獅子地区の暮らしの中心となる「田植え、草刈り、稲刈り」を体験するだけでなく、ダム見学等で志津見ダムを知って貰う機会にもなっている。
		15. 他地区との連携	⑲	中期	広域的な連携検討	1. 周辺地域(三瓶山周辺)への志津見ダムのPRを行う 2. 斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流は引き続き行う 3. 広域観光の結節点としての機能強化(情報提供など)	1. 企業CSRへの招待 2. ホームページでの相互PR 3. 周辺地域との連携	●周辺地域との連携として、コスモス祭では国立三瓶青少年交流の家と連携し、ブースを設置した。

志津見ダム水源地域ビジョン アクションプラン 平成29年度 年間スケジュール

[illegible]

【基本方針1:美しいふるさとづくり】

資料①：河川と道路の景観保全活動、グリーンウォーク、草刈り研修会

流域住民と関係機関が協働で河川内や道路沿いの景観保全活動を行う。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観の保全・向上 ・清掃や除草の区域、役割分担の明確化 ・地域の連帯感の醸成
	場 所	・フラワーバレーなどの志津見湖内及び河川内 ・国道 184 号、県道など
	内 容	・地域の顔となる「生活拠点施設～うぐいす茶屋間」については、地域住民だけでなく神戸川の流域住民にも参加を募り、草刈りやゴミ拾い等の景観保全活動を行う。(既存取り組み) ・通常の行政所管区間の維持管理について、除草等の区域、時期、頻度や役割分担を明確化する。(新規取り組み) ・草刈り道具の使用方法や、効果的な草刈りの手法を学ぶことができる草刈りの研修会（イベント的な要素も盛り込む）をあわせて開催し、神戸川の流域住民にも草刈りを体験してもらう。(新規取り組み) ・地域の自然環境や歴史文化についての情報を提供しながら清掃活動を行う『クリーンウォーク』（「志々地区の歴史と伝承を巡る会」等）を企画する。(新規取り組み) ・活動終了後は交流会を開催する。〔志学地区では、桜の苗木まわりの草刈りに広島方面から人を集め、活動終了後、山菜採りやシシ汁、タラの芽やこごみを使った山菜弁当で交流会を実施〕(新規取り組み) 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・「志々の景観を守り育てる会」による国道 184 号、一般県道佐田八神線沿道除草（「ハートフルしまね」として活動 年 2 回の除草、延長 6.8km、面積 13,600 m ² ） ・フラワーバレーエリアの草刈り ・フラワーバレーエリアの種まき ・除草は河川管理者（県、国）および道路管理者（県、町）が行う

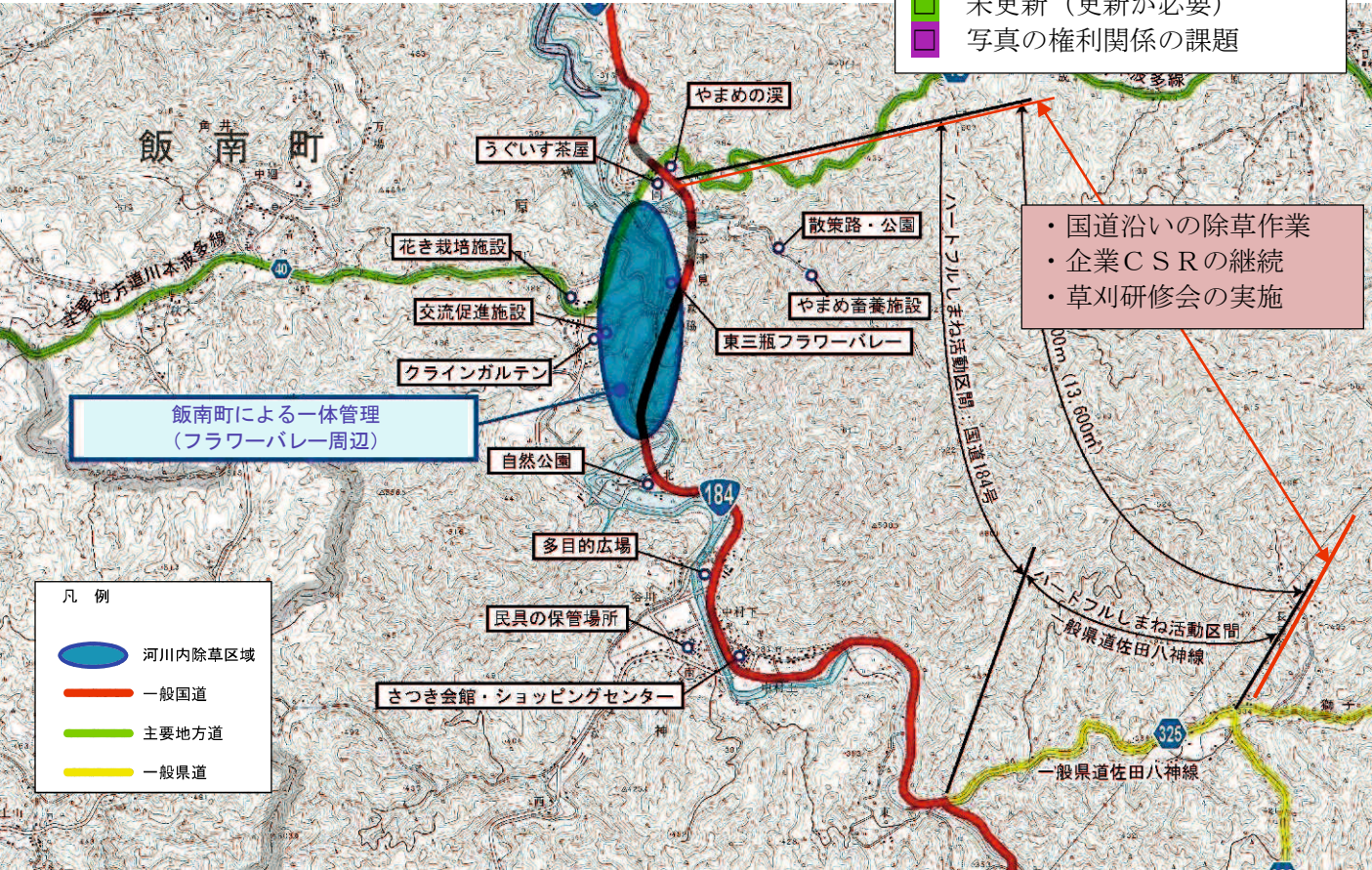
H 2 9 で 取り組む べき事項	① （河川と道路の景観保全活動）志々の景観を守り育てる会による除草（継続） ② （河川と道路の景観保全活動）企業 C S R の継続 ③ （クリーンウォーク）企業 CSR の中で実施を継続 ④ （草刈り研修会）男女が参加できる研修会を実施
-------------------------	--

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会
------	--------------------

実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	①フラワーバレー							
	維持管理協定の締結			●	●	●		
	種の購入			●				
	種まき	●	●					
	除草	●	●	●	●	●		国が町に委託
	②フラワーバレー以外							
	河川区域の除草等	●		●	●	●		
	道路区域の除草等	●	●	●	●			

注 1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注 2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 企業CSRによる草刈、ゴミ拾い（継続）
実施主体 飯南町
・実施日 平成29年11月4日（土）
・実施場所 志津見ダム周辺
・参加人数 24団体、119名（過去最多を更新中）

【これまでの参加実績】
H24: 7 社、27 名
H25: 5 社、19 名
H26: 23 社、73 名
H27: 25 社、95 名
H28: 26 社、112 名
H29: 24 社、119 名

2. 田舎体験と合わせて草刈り研修を実施
・実施主体 飯南町
・実施日 平成29年7月30日（日）
・実施場所 獅子地区
・参加人数 9 名（島根大学学生 7 名＋教職員 2 名）



田舎体験と合わせた草刈り研修

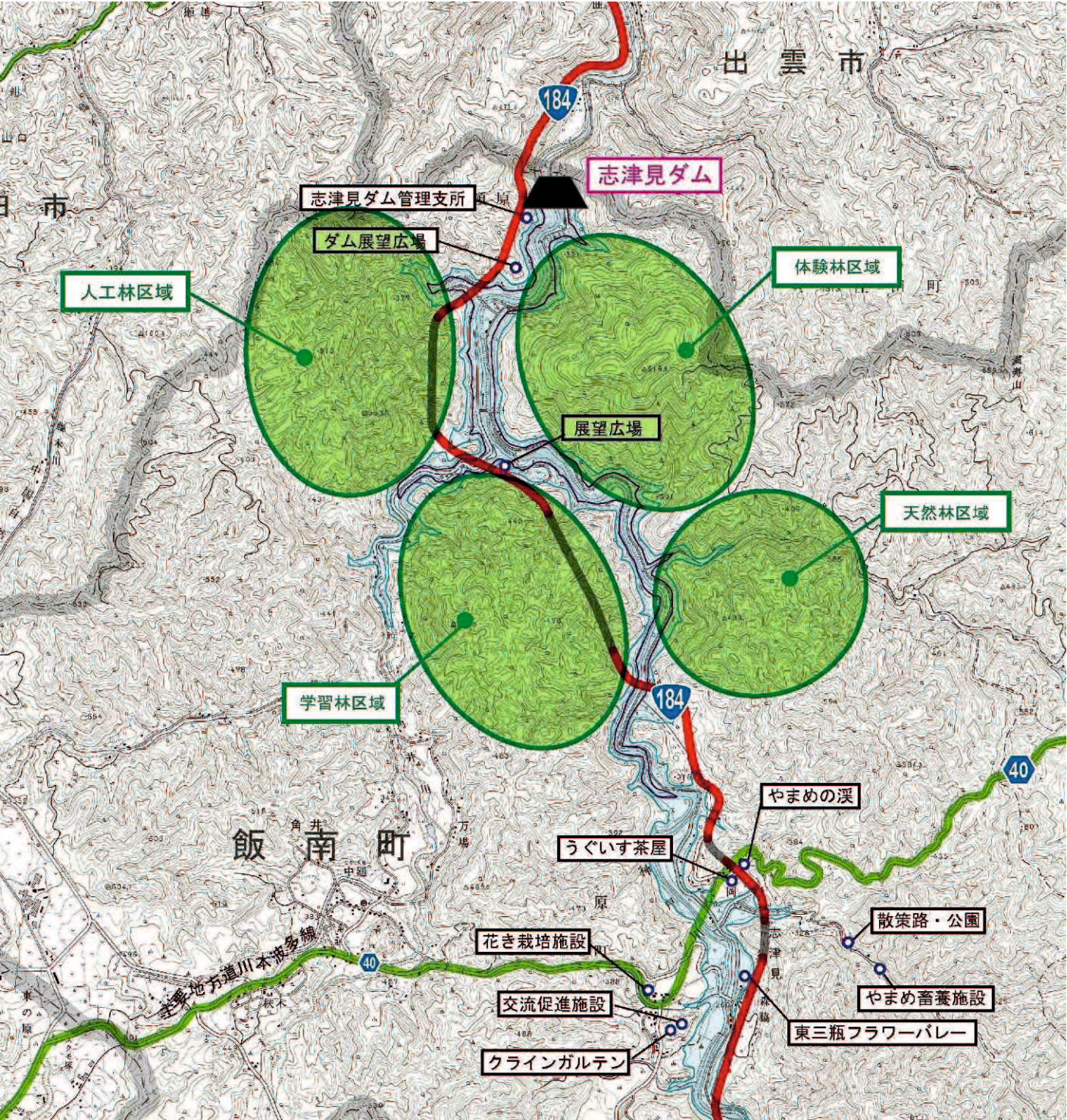
資料②：町有林による景観美化								
飯南町が進める町有林の整備に際し、広葉樹・落葉樹等の植栽に取り組む。								
取り組み内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観の保全・向上 ・水源地の体験学習林としての活用						
	場 所	・国道 184 号沿いの町有林						
	内 容	・町有林の整備を自然保護、景観保全の施策として捉え、広葉樹や紅葉する樹種を部分的に導入する。(既存取り組み) ・自然を体感できる林道整備や、伐採のためのチェーンソーの講習会開催なども検討する。(新規取り組み) 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・飯南町による町有林整備（植林整備） ・山林保全の位置づけ（人工林区域、体験林区域、天然林区域、学習林区域）						
H 2 9 で取り組むべき事項	① 環境学習の場の運営方法の検討及び整備に必要な事項を整理							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	企画立案	●		●	●	●		
	林道整備			●				
	整備に関する意見集約	●		●				
	活用に関する意見集約	●		●	●	●		
	取り組み後の P R	●		●	●	●		

注 1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注 2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注 3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

■参考図(「頓原町自然環境保全事業区域平面図」から作成)



- 今年度実施内容
- 町有林による景観美化(継続)
 - 現状確認のため、飯南町及び森林組合が現地調査を行うこととした。
 - 現地調査の結果を踏まえ、今後の対応を検討する。

資料③：牧歌的な風景づくり

家畜の放牧

取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 水源地域の新たな景観の創出 ・ 家畜を利用した除草等による景観の保全						
	場 所	・ 河川敷内						
	内 容	・ 牛、羊、山羊などの家畜を放牧することで新たな河川景観を創出するとともに河川敷の除草や排泄物の利用など景観保全や資源有効活用を行う。 ・ 家畜は借用するなどして試験的な取組や学習会などから始める。						
H 2 9 で 取り組む べき事項	① 試行的に実施した牛の放牧の継続（荒廃防止の観点も踏まえ河川区域内での実施を検討、糞尿による環境問題の整理） ② 乗馬体験の実施に向けた検討、調整							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	牛舎建設位置の調査	●		●				
	放牧の可能性の調査	●		●				
	牛舎の建設	●		●				
	放牧の許可等の検討			●		●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

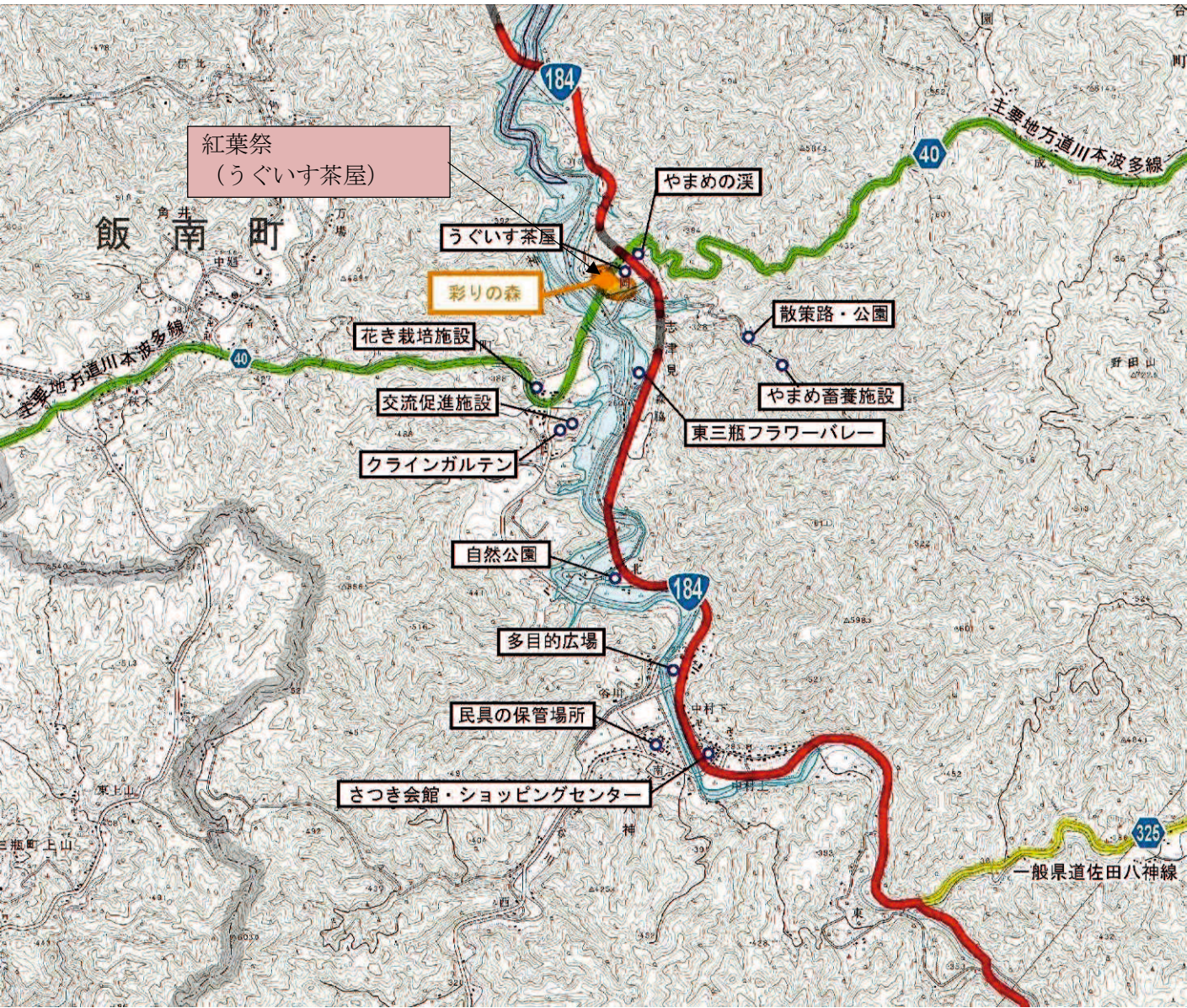


- 今年度実施内容
1. 試行的に実施した家畜の放牧の継続
- 平成27年、28年のコスモス祭における放牧の試行を踏まえ、継続的な家畜の放牧について検討を行った。
- 牛の場合は課題※も多いため、ヤギや羊の活用を検討する。
- 常時放牧するのではなくイベント時に併せて放牧を行う。
- ※牛は一頭だけを入れても動かない動物であり、糞尿の問題もある。

資料④：彩りの森の紅葉をライトアップ								
既存の投光機を設置し、うぐいす茶屋周辺の彩りの森の紅葉をライトアップする。								
取り組み 内容 (全体)	目 的	・水源地域の景観向上 ・水源地域の新たな魅力の創出						
	場 所	・彩りの森（フラワーバレー「うぐいす茶屋」周辺のもみじ植栽地区）						
	内 容	・紅葉時期に、彩りの森の紅葉をライトアップで演出する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・彩りの森へのもみじの植栽 ・紅葉祭りの開催（11月（有）志都の里、飯南町） ・コスモス祭（10月第2週、日曜日開催）						
H29で 取り組む べき事項	① ライトアップの継続実施（紅葉祭りとの連携） ② 志津見ダムとの連携（ダムのライトアップを同時期に実施） ③ 夜カフェ等の実施を検討 ④ 他ポイントでのライトアップも検討（点から線的、面的な広がり）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ライトアップの企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋夜間営業の依頼
	資機材の準備			●				
	投光機の設定			●				
	ライトアップの広報、PR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 紅葉祭の開催(継続)
紅葉祭の開催を継続
・実施日 平成29年11月4日(土)～5日(日)
・実施場所 彩りの森(うぐいす茶屋周辺)
・実施主体 志都の里・飯南町
・助 成 飯南町
- 志津見ダムとの連携(継続)
・紅葉祭にあわせ志津見ダムでもライトアップを実施(継続)
・実施日 平成29年11月3日(金)～11月26日(日)までの土日祝祭日
・点灯時間 17:30～20:00
・場 所 志津見ダム 堤体



紅葉祭



志津見ダムのライトアップ

資料⑤：子供向け環境学習会の実施

早期で実施していた神戸川流域の子供たちによる簡易水質調査や自然観察会、山の恵み学習会などのプログラムを組み合わせ、上下流の交流をはかる。

取り組み内容 (全体)	目 的	・神戸川をとりまく自然環境の再認識 ・子供たちに対する地域の自然環境を利用した環境学習の場の提供 ・周辺整備施設の活用 ・エコロジカル・ネットワークの形成
	場 所	・神戸川流域
内 容		・上下流の子供たち（小学生）が参加する『水生生物による簡易水質調査』を出前講座で実施する。（新規取り組み） ・子供たちの調査の成果を発表する場を設けて神戸川の現状を知ってもらうとともに、上下流の交流をはかる。（新規取り組み）
		【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・斐伊川・神戸川流域環境マップ（NPO法人しまね体験活動支援センター主催） 斐伊川・神戸川流域の児童、生徒による川の環境マップづくり （神戸川での取り組み状況） 2011 秋 上下流の6小学校が参加（八神地区で志々小学校が調査） 参加小学校 飯南町八神：志々小学校 3、4年生 出雲市所原町：朝山小学校 3、4年生 馬木大橋付近：神戸川小学校4年生（下流） 馬木大橋付近：赤名小学校、来島小学校4年生合同調査（下流） 塩冶町：塩冶小学校4年生（下流） 第5回斐伊川・神戸川流域環境マップづくり成果発表会（2011. 11. 23） 参加：出雲市立上津小学校、飯南町立赤名小学校、奥出雲町立高尾小学校、古志青少年育成協議会

H29で 取り組む べき事項	① ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画 ② 下流域住民の参加増を目指す ③ 川遊びをしながら学ぶような企画を検討
----------------------	--

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会
------	--------------------

実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	出前講座の検討	●		●	●	●		
	参加小学校の検討	●		●	●	●		
	教育庁との連携	●		●	●	●		
	交流行事の企画	●		●	●	●		
	調査の広報、PR	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
	斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 森の学校サマーツアーの実施（継続）

- ・実施日 平成29年8月5日（土）～8日（火）
- ・場 所 志津見ダム、うぐいす茶屋、クラインガルテン
- ・内 容 自然体験、ダム見学
- ・実施主体 飯南高校（生徒企画）、観光協会、飯南町
- ・参加者 15名

2. ヤマメの生育調査にあわせ、流域住民と交流ができる行事を企画（継続）
コスモス祭／ポピー祭のイベント時に合わせ、ヤマメのつかみ取りを実施



巡視艇体験



ダム見学



ヤマメのつかみ取り



森の学校サマーツアー

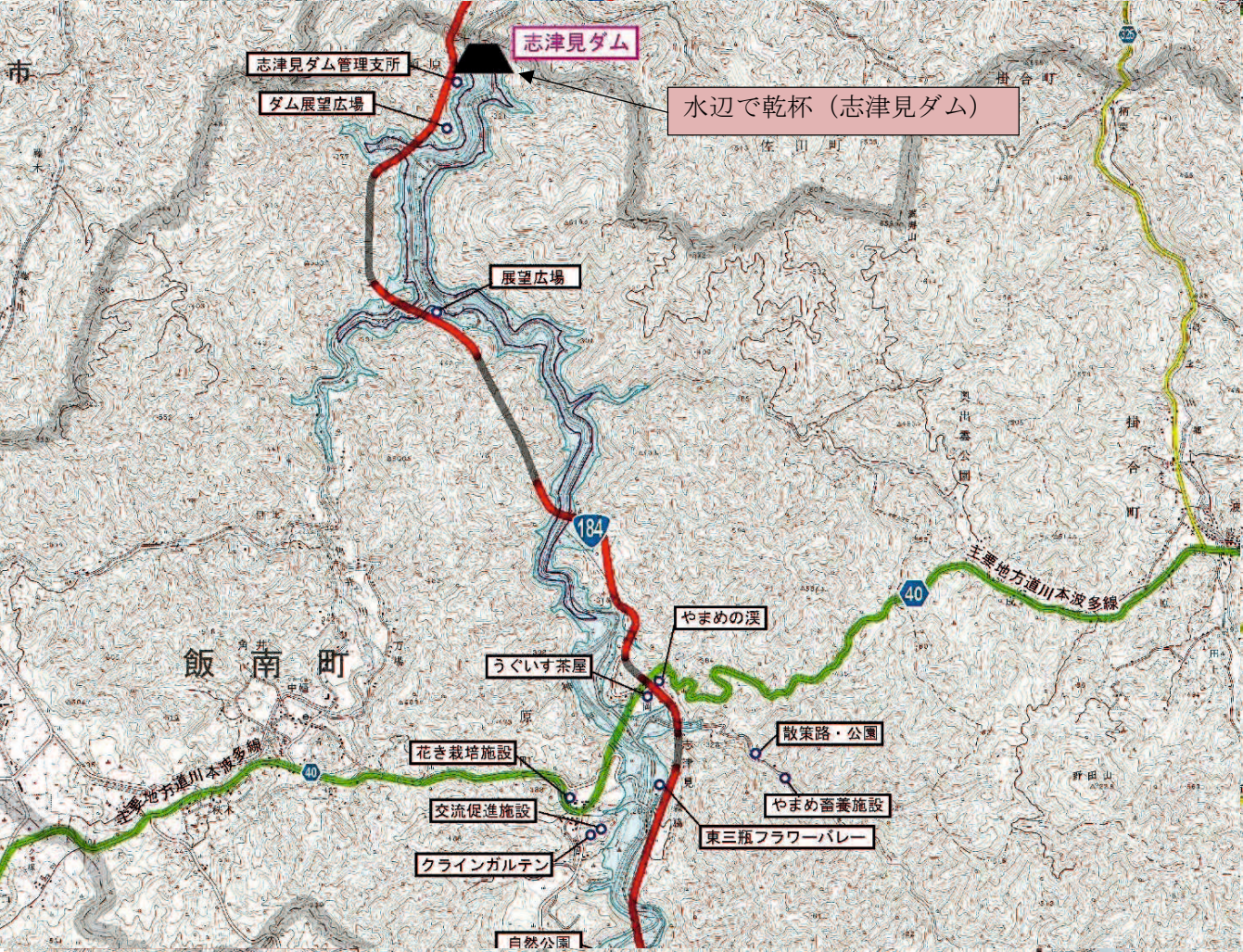
資料⑥：水辺で遊べる場づくり（既存施設の活用）

水辺公園エリアを利用し、水遊びや川下り、体験・学習等ができる環境を地域住民とともに検討し、整備する。

取り組み 内容 （全体）	目 的	・地域の自然環境を利用した環境学習 ・自然体験の場の提供 ・エコロジカルネットワークの形成						
	場 所	・水辺公園エリア（志々小学校前）						
	内 容	・水辺公園エリアを利用して、川下りや水遊び、イカダ作り、自然木による遊び場等ができる環境を整える。						
H 2 9で 取り組む べき事項	① 水辺利用者との意見交換会の継続 ② 河床整備、除草等適正な管理を行う							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	出前講座の検討	●		●	●	●		
	参加小学校の検討	●		●	●	●		
	教育庁との連携	●		●	●	●		
	交流行事の企画	●		●	●	●		
	調査の広報、P R	●		●	●	●		既存調査結果のわかりやすい表現での公表
	斐伊川・神戸川流域環境マップづくりとの連携	●	●	●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. 水辺利用者との意見交換会の継続
～ 全国的な水辺リングプロジェクトの一環として志津見ダムにて“水辺で乾杯”を開催した後、その参加者とともに水辺やダムの活用、可能性について懇親会（意見交換会）を実施。
- ・実施日 平成29年7月7日（金）
 - ・場 所 志津見ダム
 - ・参加者 32 名



水辺で乾杯

資料⑦：青空市の活性化、特産品の開発

取り組み 内容 (全体)	目 的	・拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・地区の活性化と特産品の発掘
	場 所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）
	内 容	・地区内で生産している野菜や果物、米、きのこ、やまめなどの農林水産物をうぐいす茶屋で「青空市」として販売するための仕組みをつくる。（新規取り組み） ・自然農法をアピールし、地区の特産品としてのイメージをつくる。移動販売によってアピールしていくことも検討する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・青空市の開催 ・水源地域アドバイザーによるワークショップの開催

- | | |
|------|--------------------|
| 実施主体 | 志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会 |
|------|--------------------|

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

青空市
販売コーナーの充実（うぐいす茶屋）

飯南町

うぐいす茶屋

やまめの溪

花き栽培施設

交流促進施設

クラインガルテン

自然公園

多目的広場

民具の保管場所

さつき会館・ショッピングセンター

やまめ音養施設

東三瓶フラワーバレー

散策路・公園

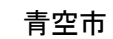
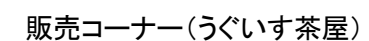
缶バッチの販売（さつき会館）

凡例

- 一般国道
- 主要地方道
- 一般県道

0m 500 1000 1500

1. 販売コーナーの商品の充実(継続)
 - ・季節のものを中心に品揃えの強化に向けた活動の検討を実施
 - ・消費者への安心感を与え販売促進へつなげるため、販売コーナーへ生産者の情報や顔写真掲載を検討
2. 加工品の種類の充実を図る(継続)
加工品に関する講習会を実施(平成29年10月13日(金))
3. ダム貯蔵酒を通じたビジョンの理解促進、特産品化
4. うぐいす茶屋でダムカレーの通年販売(週末限定)
5. 缶バッチの販売、開発中の「八福神焼き」の試食会の実施(家庭の味まつり内で実演)



資料⑧：憩いの場の充実

地区内の農林水産物をうぐいす茶屋などで「青空市」として販売するための仕組みをつくり、うぐいす茶屋の集客力を高める。

取り組み内容 (全体)	目 的	・交流エリアや八神エリアの活性化のための施設整備
	場 所	・交流エリア（うぐいす茶屋周辺）、八神エリア（さつき会館）
	内 容	・うぐいす茶屋横や古宮の名木周辺の公園化の他、キャンプスペースの提供などを検討する。 ・また、自然木で作ったベンチ、積み木などを並べ、子供たちの興味を引く仕組みを作る。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・町内の憩いの場として「志々さくら広場」を整備

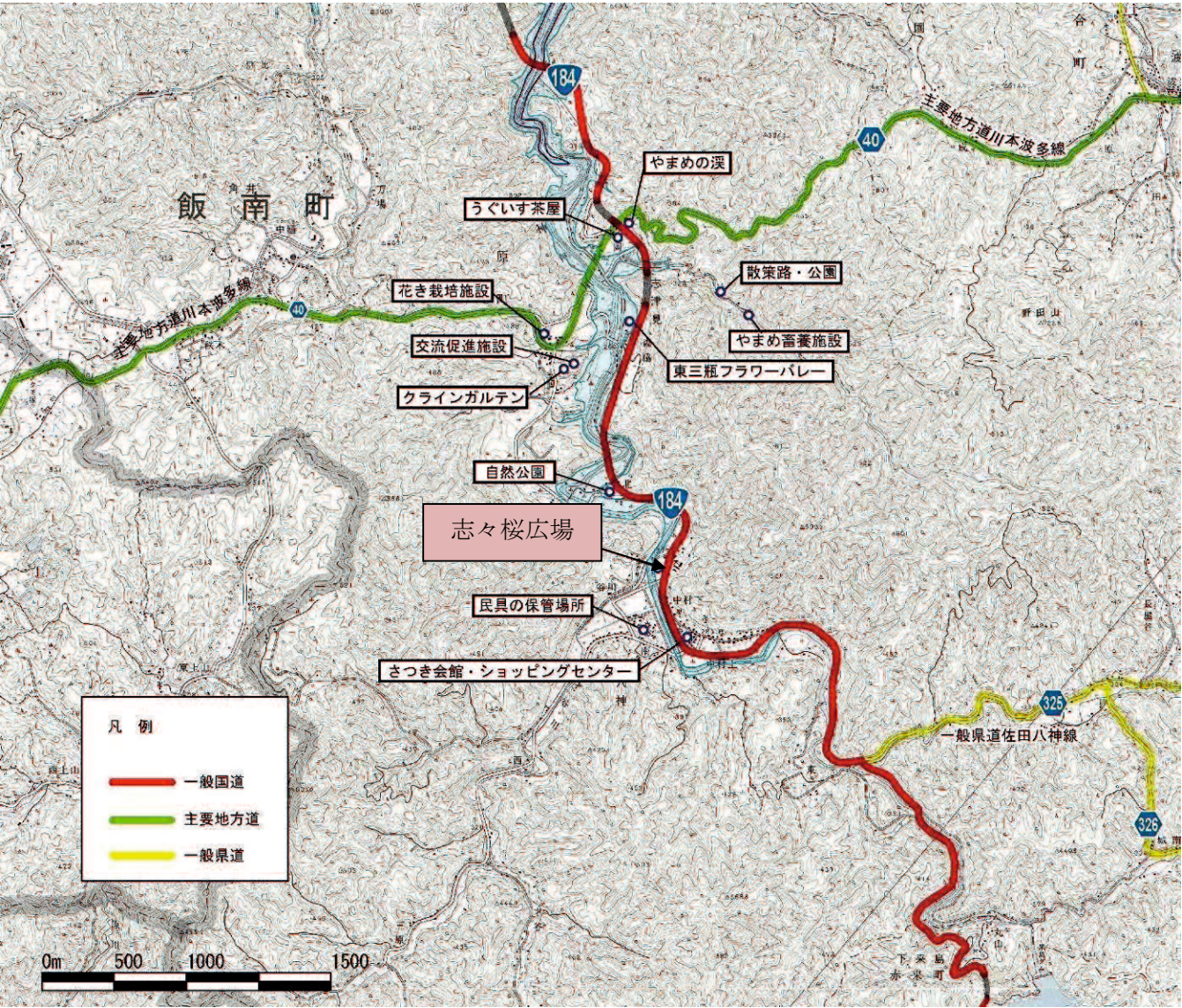
H29で 取り組む べき事項	① 憩いの場としての機能の充実を図る ② 伐採木を活用したベンチ、積み木の製作（増設）
----------------------	--

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会
------	--------------------

実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	憩いの場の選定	●		●	●	●		
	活用方法の検討	●		●				
	憩いの場としての機能の 拡幅	●		●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 1. 町内の憩いの場として「志々桜広場」を活用
・志々さくら広場の清掃(平成29年4月9日)



志々桜広場

資料⑨：地域懇親会の開催

地域の人々が集う場を定期的に設定し、地域に関する情報交換や意見交換を行う。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・志津見ダム水源地域ビジョンの推進に関する意見交換 ・地域コミュニティの強化 ・世代間交流 ・情報の共有と連帯感の醸成
	場 所	・さつき会館(志々公民館)、うぐいす茶屋、ダム展望広場
	内 容	・若者、壮年期を中心に自治区、公民館と協力して、イベントの実施にからめた開催を検討。(新規取り組み) ・以下の施策の具体化を意見交換テーマとしてとりあげて活動を始める。(新規取り組み) ＜意見交換テーマ＞ ①「山の恵みの学習」について 山の知識が豊富な方の協力を得て、春に流域住民の参加も募り山林の保全活動を行うとともに、山菜の生育条件や採り方、料理の仕方などを学ぶ。 また、自然観察会や家庭の味まつりなどとのタイアップも検討する。 ②「イメージキャラクターの活用」 既存のイメージキャラクターの活用(着ぐるみの作成など)や子供たちへのアイデア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 ③「マップ(パンフレット)づくり」について 水源地域の観光情報や地元住民の自慢の場所からお勧めスポット、地域および連携地域のイベントカレンダーまで、地域の隠れた情報を訪れた人たちに情報提供できるマップをつくる。フォトポイントや見所、名所・旧跡もあわせて紹介する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・志津見ダムのキャラクター くにびきくん ・ポピー祭のキャラクター ・コスモス祭のキャラクター ・飯南町のキャラクター いいにゃん ・志都の里 湖畔散策マップ

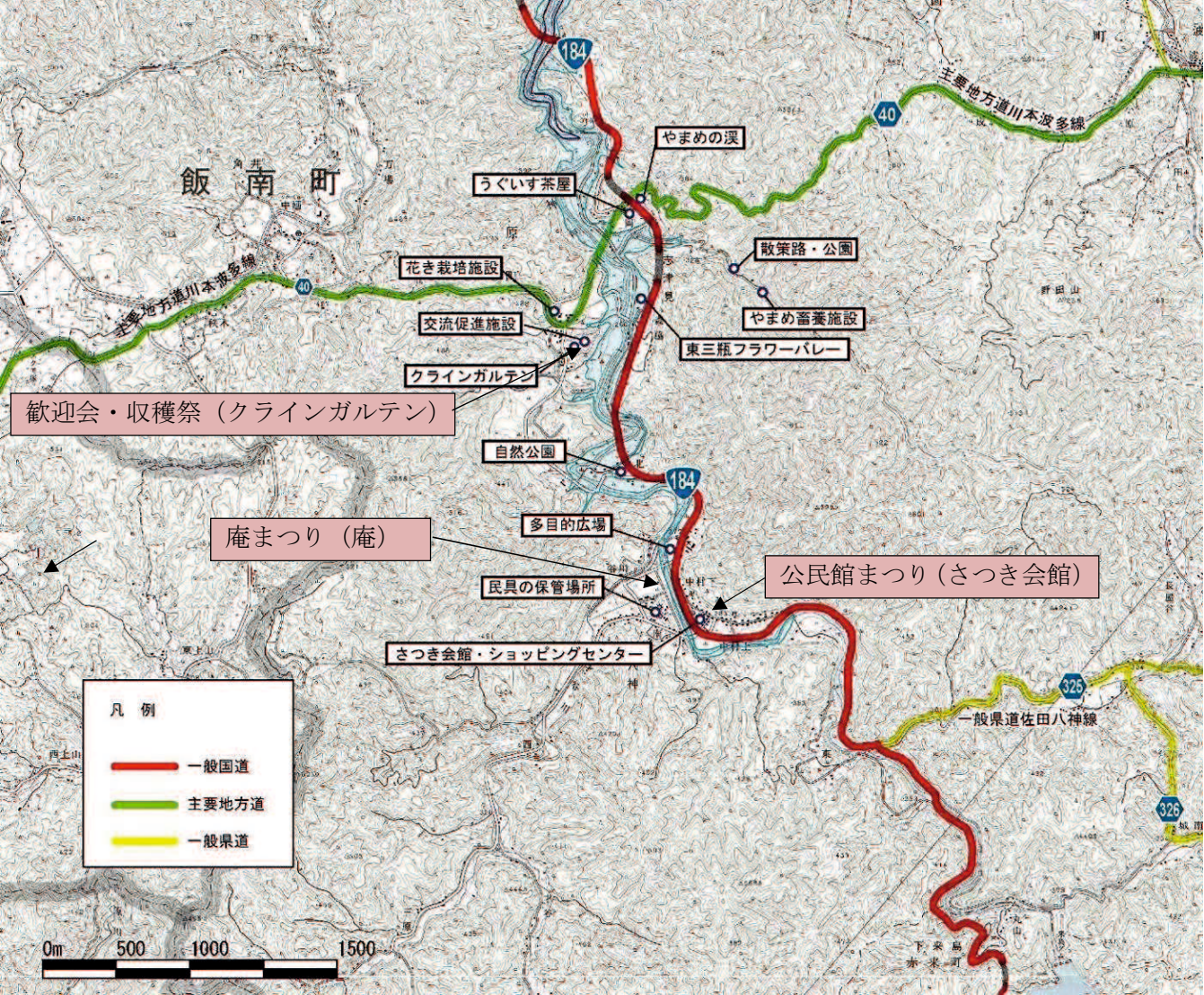
H 2 9で 取り組む べき事項	① 地区全員が出られる機会をつくる ② 取組に対する情報共有 ③ ダム資源や素材(駐車場など)の有効活用を検討 ④ ビジョンそのものの認知向上、理解促進のための方法を検討
------------------------	--

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会
------	--------------------

実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	意見交換テーマの設定	●		●	●	●		
	意見交換と意見集約	●		●	●	●		
	会場提供			●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 地区全員が出られる機会をつくり、取組に対する情報共有やビジョンの認知向上、理解促進に努めた。
- ・クラインガルテン歓迎会 4月15日(水)(98名)
 - ・庵まつり 7月15日(土)(260名)
 - ・志々公民館まつり 8月26日(土)(250名)
 - ・志津見収穫祭 11月18日(土)(103名)
 - ・昭和少年少女のつどい 2月24日(土)



クラインガルデン歓迎会



庵まつり



志々公民館まつり



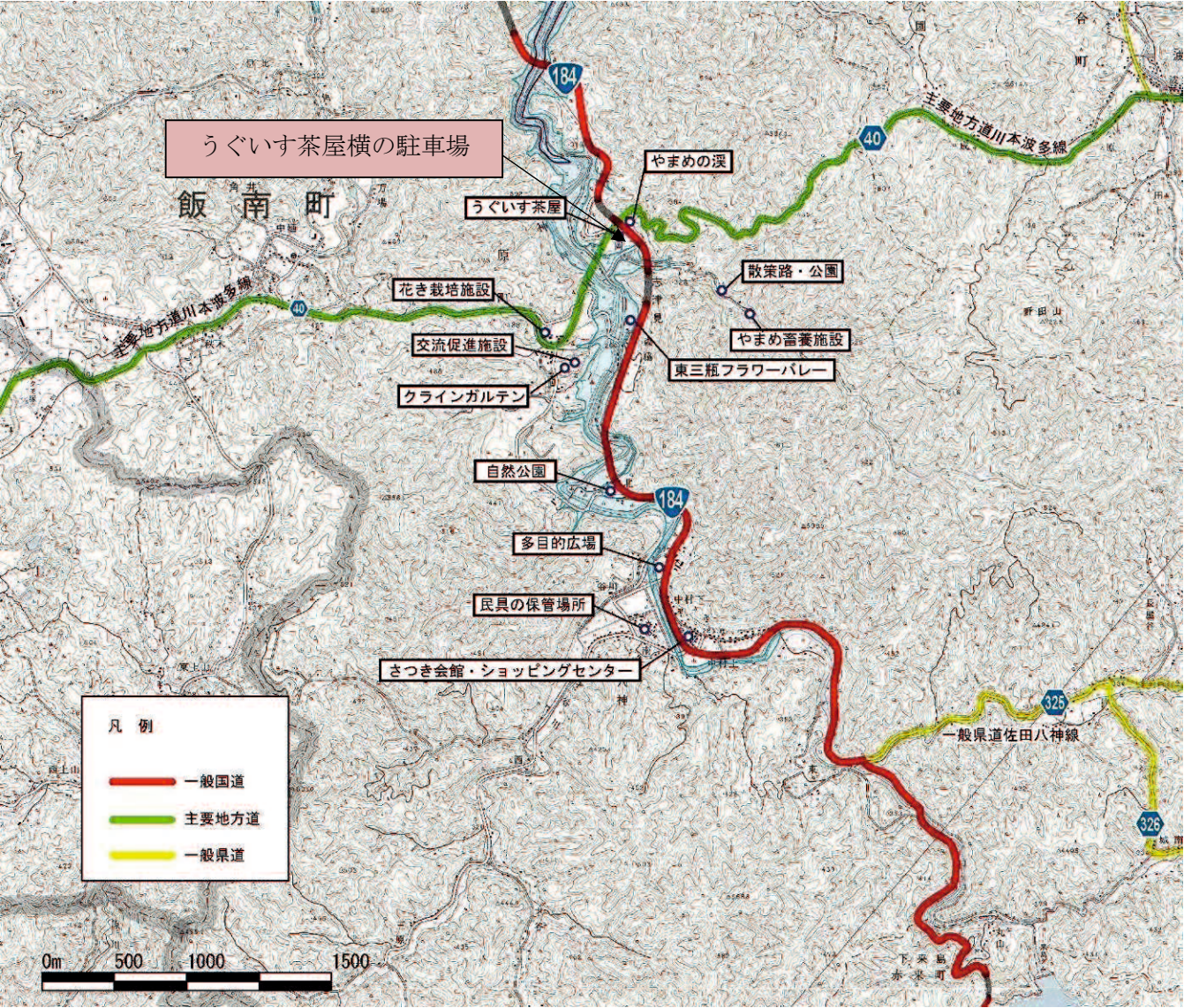
志津見収穫祭

資料⑩：イメージキャラクターの活用

取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 親しみやすい志津見湖のイメージ作り						
	場 所	・ 交流エリア（うぐいす茶屋周辺）						
	内 容	・ 既存のイメージキャラクターの活用（着ぐるみの作成など）や子供たちへのアイディア募集などにより親しみやすい志津見湖のイメージを作る。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 記者発表などの広報資料等への「くにびきくん」の掲載						
H 2 9で 取り組む べき事項	① 地域懇談会で利用に対する議論を行う ② 看板、広報物へ掲載し P R を行う							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	憩いの場の選定	●		●	●	●		
	活用方法の検討	●		●				
	憩いの場としての機能の 拡幅	●		●				

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

- 1. イメージキャラクターの活用促進
 - ・うぐいす茶屋に写真撮影用の「くにびきくん」の顔出しパネルを設置



くにびきくんの顔出しパネル

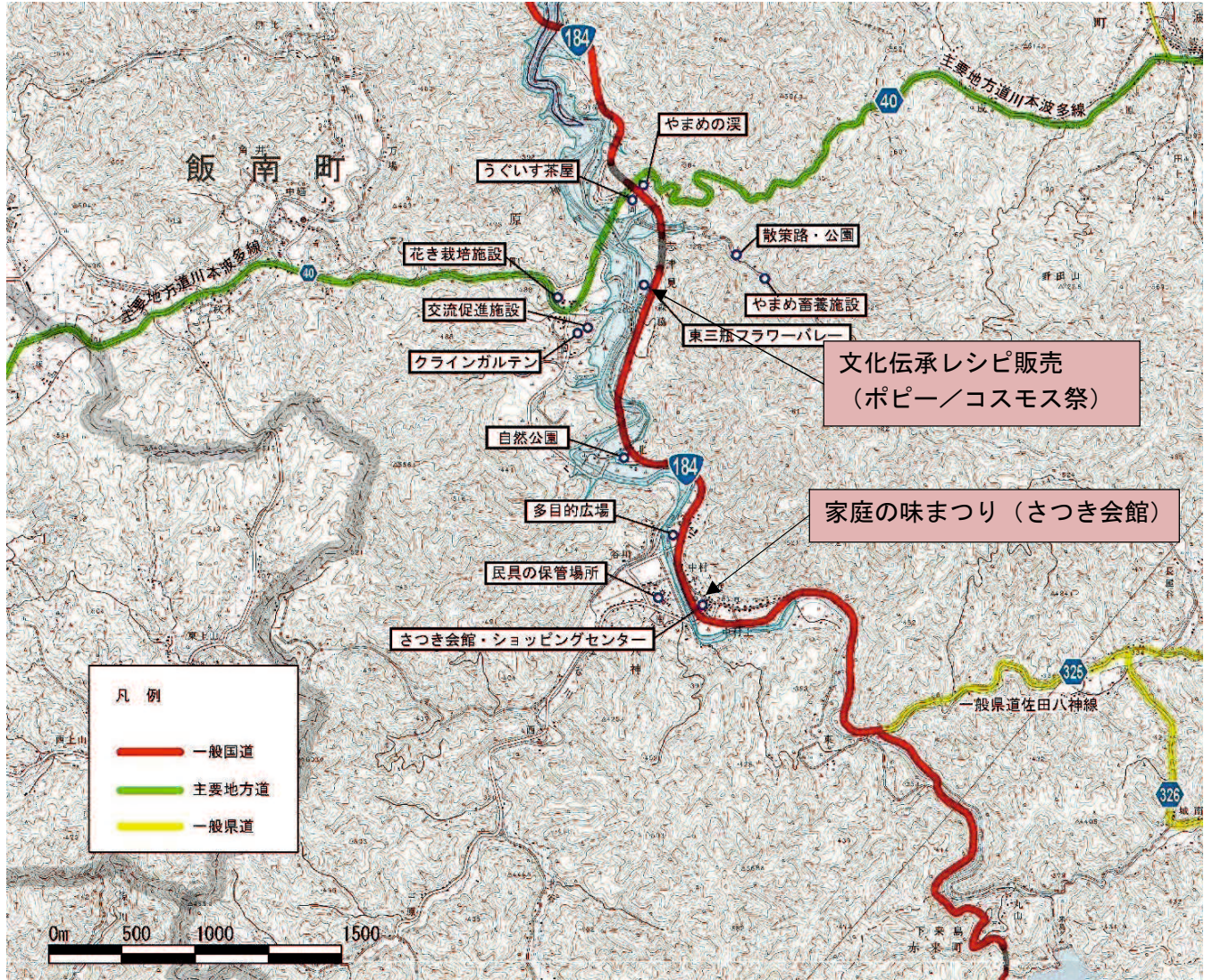
資料⑪：食文化伝承レシピの作成

“食文化伝承”レシピをつくり、地域の人々に伝承する。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 地域文化の伝承 ・ 地域の食文化の PR ・ 拠点施設としてのうぐいす茶屋の活性化 ・ 地区の活性化と特産品の発掘						
	場 所	・ 志々公民館（志々公民館）、うぐいす茶屋						
	内 容	・ 地区の食材を使った地元の“食文化伝承” レシピをつくる。（新規取り組み） ・ うぐいす茶屋でのメニュー化検討。（新規取り組み） ・ レシピに基づく料理教室の開催。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 長寿社会づくりソフト事業交付金（特定事業） 申請中（地域社会振興財団） ・ 志々公民館で活動中 「家庭の味まつり」の開催、これまでの活動内容をまとめ、地域振興に活用できる写真集の発行						
H 2 9 で 取り組む べき事項	① 家庭の味まつりを引き続き開催する ② 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討（イベント時など）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	助成申請	●		●	●	●		
	家庭の味まつりの開催	●		●				
	レシピ・写真の整理	●		●				
	レシピの P R	●		●	●	●		
	写真集の発行	●		●				
	写真集の P R	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. 「家庭の味まつり」の継続開催
【第13回家庭の味まつり】11月25日(土)開催
・参加者数 70名(昨年85名) 出品数 59
2. 食文化伝承レシピの試行的提供機会の検討
・ポピー祭／コスモス祭にて、食文化伝承レシピ関連の商品を販売



ポピー／コスモス祭での食文化伝承レシピ関連の商品の販売

第13回家庭の味まつり

資料⑫：遺物の展示・民具の展示

地区の歴史文化や民俗をうかがい知ることができる遺物や民具を既存施設（うぐいす茶屋等）やイベント時に展示する。

取り組み 内容 （全体）	目 的	・地域の有する歴史文化の継承 ・地域の歴史文化のPR
	場 所	・うぐいす茶屋、フラワーバレーエリア、志津見ダム管理支所、さつき会館（志々公民館）など
	内 容	・保管されている民具の一部をうぐいす茶屋や青空市のディスプレイに活用する。（新規取り組み） ・さつき会館や志津見ダム管理支所等もテーマを設定するなど展示を検討する。 ・ポピー祭、コスモス祭、志々公民館まつりなどのイベント時にも会場に展示スペースを設けて民具が見学できるようにする。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし

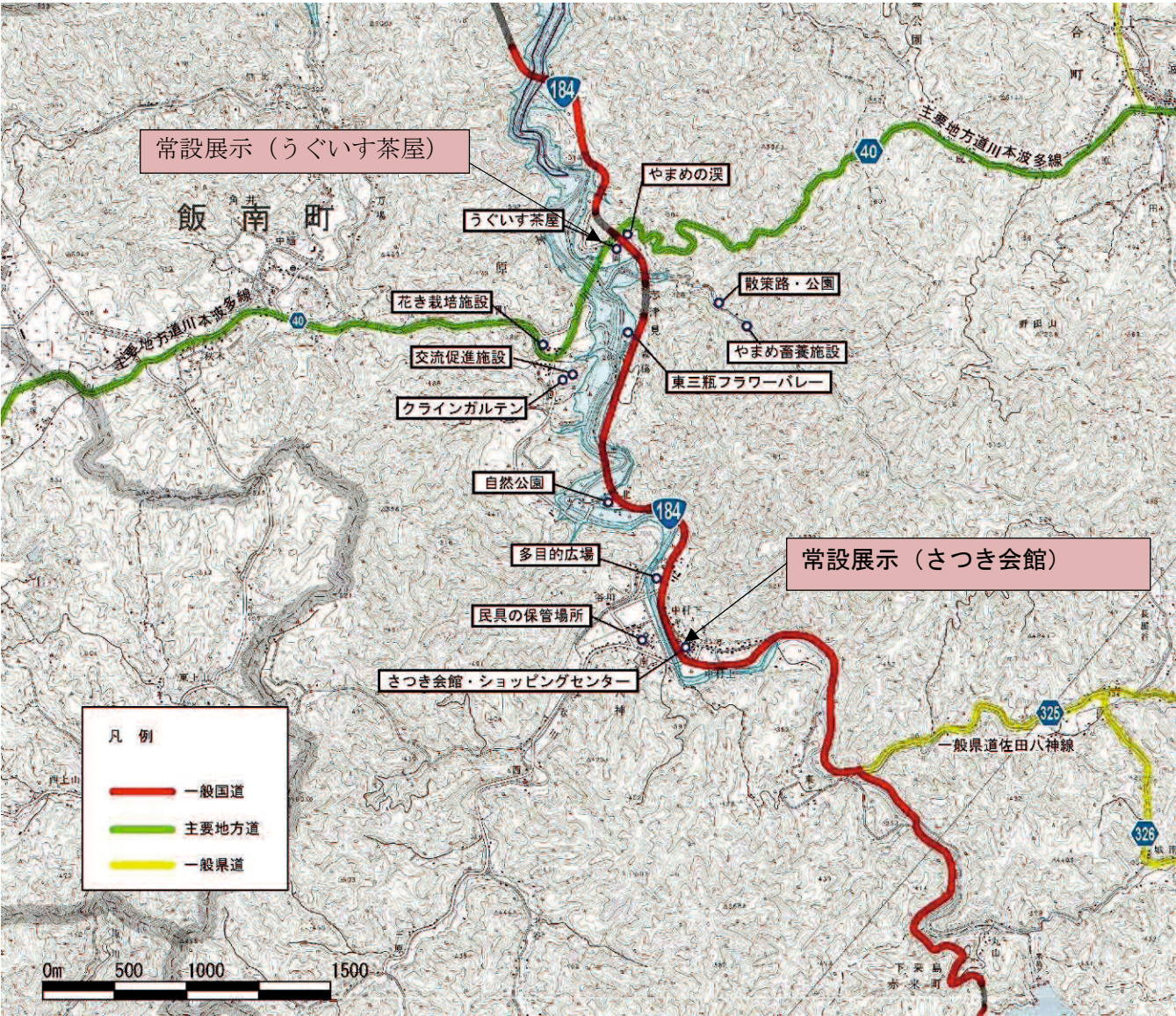
Ｈ２９で 取り組む べき事項	① （遺物の展示） 志々エリアで出土した土器などの活用の検討 ② （民具の展示） うぐいす茶屋で引き続き展示 ③ （民具の展示） イベント等での展示を行う（民具の実演等展示に工夫）
----------------------	--

実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会
------	--------------------

実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	①うぐいす茶屋等 常設展示							
	常設展示の企画	●		●	●	●		うぐいす茶屋等との調整
	民具の搬入・設置	●		●				
	②イベント開催時の展示	●		●				
	イベント展示の企画	●		●	●	●		
	民具の搬入・設置・撤去	●		●				
	民具の管理	●		●				
	③民具の展示のPR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. うぐいす茶屋での民具の常設展示（継続）
2. さつき会館での遺物の常設展示（新規）
さつき会館フロアで、遺物2点の常設展示を開始（5月中旬～）



民具の常設展示（うぐいす茶屋）



遺物の常設展示（さつき会館）

【基本方針3：人が集まるふるさとづくり】

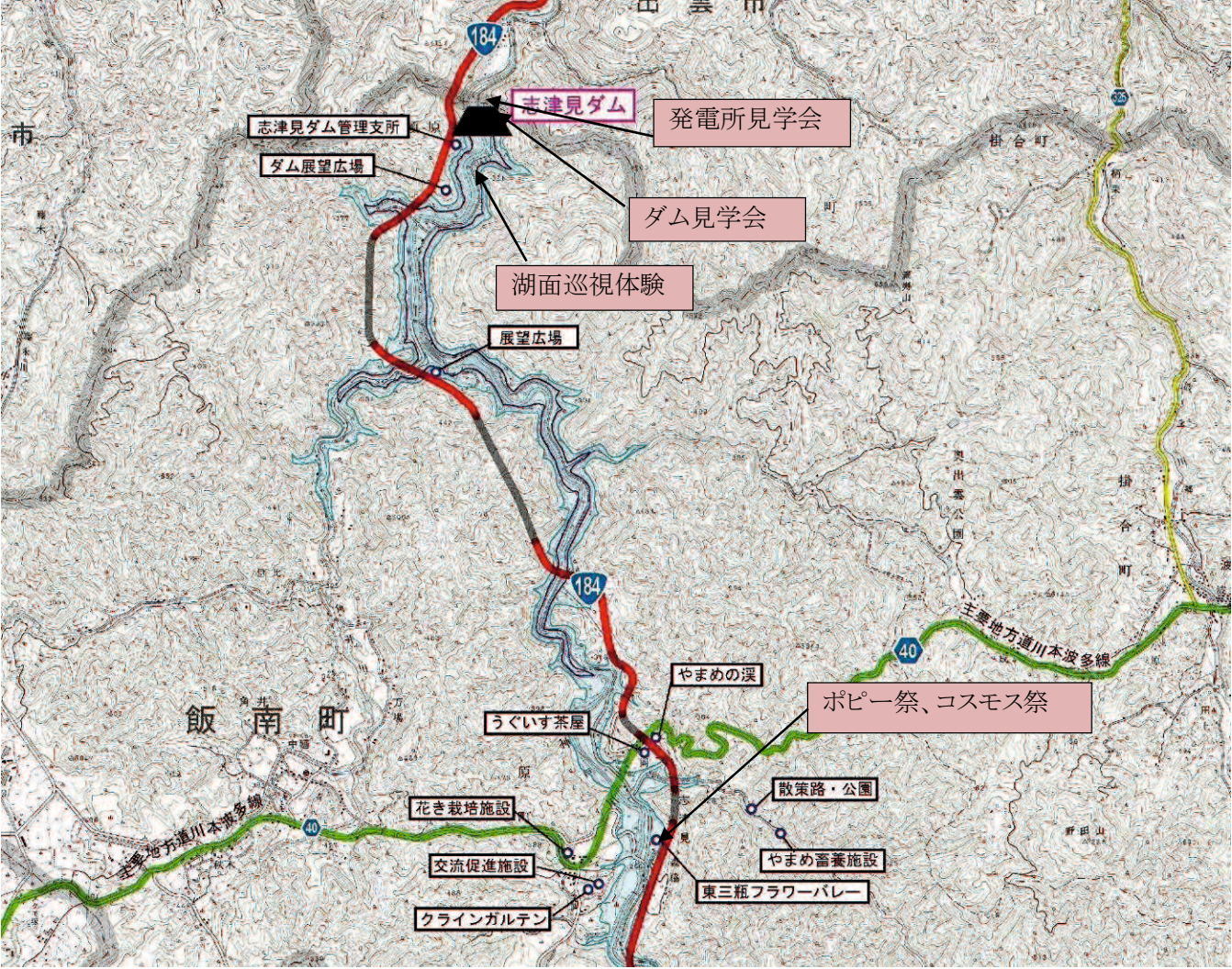
資料⑬：ポピー祭・コスモス祭開催、湖面巡視体験

これまでに開催しているポピー祭、コスモス祭を継続して開催する。

取り組み 内容 （全体）	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化						
	場 所	・フラワーバレーエリア						
	内 容	・ポピー祭、コスモス祭の開催。（既存取り組み） ・イベント開催時には、巡視船を活用した『湖面巡視体験』（新規取り組み）や、ダム見学、発電所見学（既存取り組み）などを実施する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ポピー祭、コスモス祭 ・イベントにあわせたフォトコンテスト ・志津見ダム見学会 ・発電所見学会						
H 2 9 で 取り組む べき事項	① （ポピー祭・コスモス祭開催）ポピー／コスモスの維持（肥料の投入量を増やし地力の回復を行う） ② （ポピー祭・コスモス祭開催）ダム見学会、巡視体験等引き続き実施 ③ （ポピー祭・コスモス祭開催）地元住民向け巡視体験会の継続 ④ （ポピー祭・コスモス祭開催）イベント自体のマンネリ化の防止（参加型企画等の継続） ⑤ （湖面巡視体験）イベント以外で地元住民向けの体験会の継続							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	湖面巡視体験の実施			●	●	●		
	ダム見学会の実施			●	●	●		
	発電所見学会の実施			●	●	●		
	集中豪雨に関する展示 降雨体験機による体験					●		パネル等の展示
	イベントの広報・P R	●		●	●	●		
	ビジョンのP R	●		●	●	●		パネル展示

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容(ポピー祭、コスモス祭において実施)

【入り込み実績】ポピー祭	／	コスモス祭
H23	： 3,000 人	／ 5,000 人
H24	： 4,000 人	／ 5,000 人
H25	： 6,000 人	／ 5,500 人
H26	： 4,500 人	／ 5,500 人
H27	： 5,500 人	／ 5,000 人
H28	： 4,800 人	／ 5,000 人
H29	： 4,300 人	／ 5,600 人



ポピー祭



コスモス祭



巡視艇体験と BIGSUP 体験



フラワーバレーの開花状況



参加型企画
(さつまいも掘り)

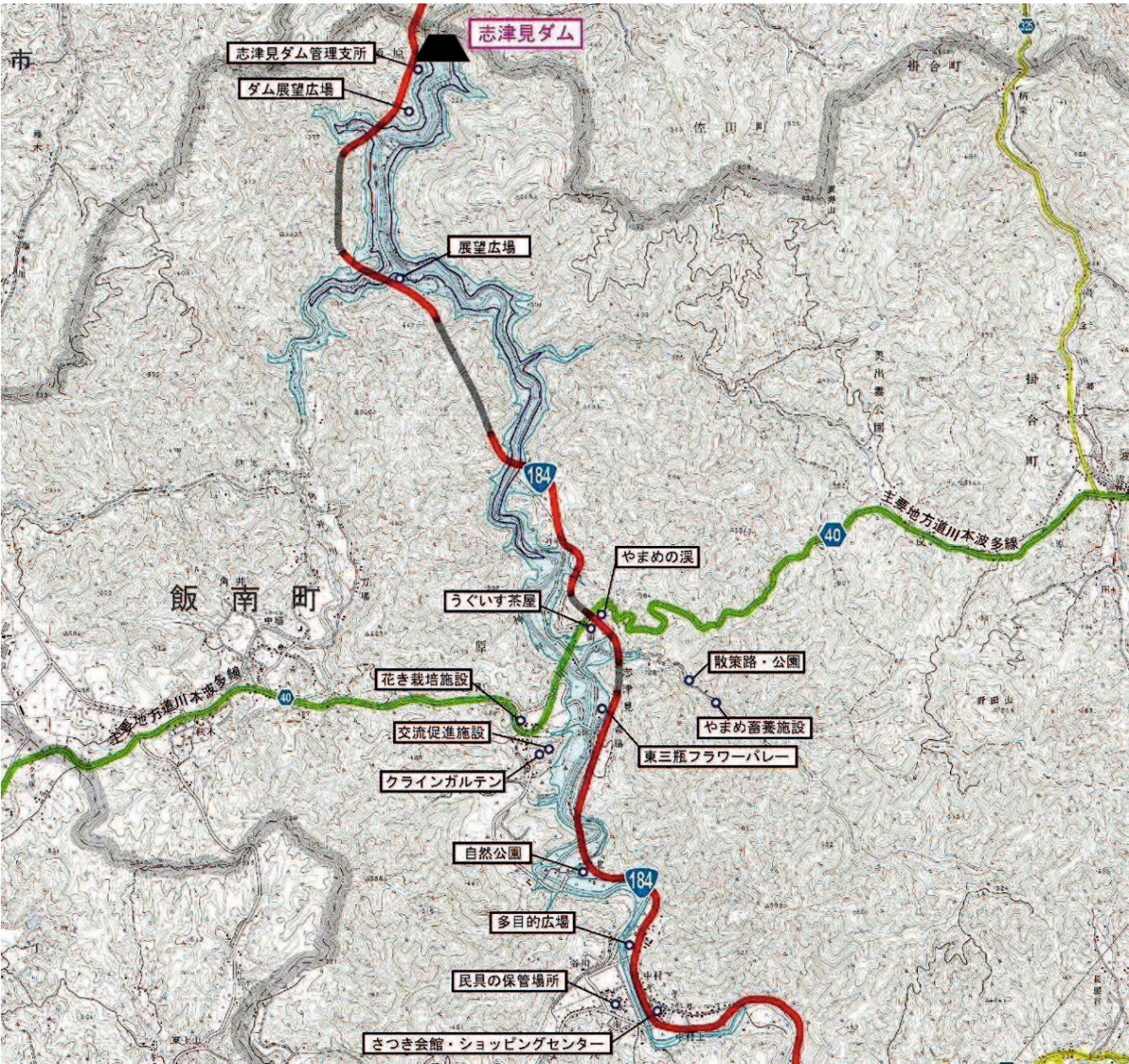
資料⑭：志々ファンクラブ（仮称）

クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成し、情報提供や地元製品の販売などネットワークを構築する。

取り組み内容 (全体)	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化						
	場 所	・水源地域						
	内 容	・クラインガルテンの会員 OB などを中心にファンクラブを結成する。（新規取り組み） ・情報提供や地元製品の販売などネットワークを構築する。（新規取り組み） ・ファンクラブの会員については、段階的に広域に広げていく。（新規取り組み） ・他のファンクラブとの連携も検討する。（新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ なし						
H 2 9 で 取り組む べき事項	① 積極的な情報発信の実施 ② 会員の具体化の検討を行う（若者や愛好家の参加促進）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	志々ファンクラブの企画	●		●	●	●		
	志々ファンクラブの結成	●		●				
	ネットワークの構築	●		●				
	名簿の収集	●						
	志々ファンクラブの PR	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■今年度実施内容

1. フェイスブックの活用を中心に積極的な情報発信方法を実施（継続）
・既存の「志々ファンクラブ」及び「志津見ダムファンクラブ」を活用し情報発信を行ったほか、田舎体験での交流から、島根大学の学生を中心に「飯南町獅子地区」のフェイスブックを立ち上げ、情報発信を強化。



志々ファンクラブ



志津見ファンクラブ



飯南町獅子地区

資料⑮：ラジコンボートレース大会

カヌーやラジコンボートなど、フラワーバレー周辺の湖面の活用を検討し、実施する。

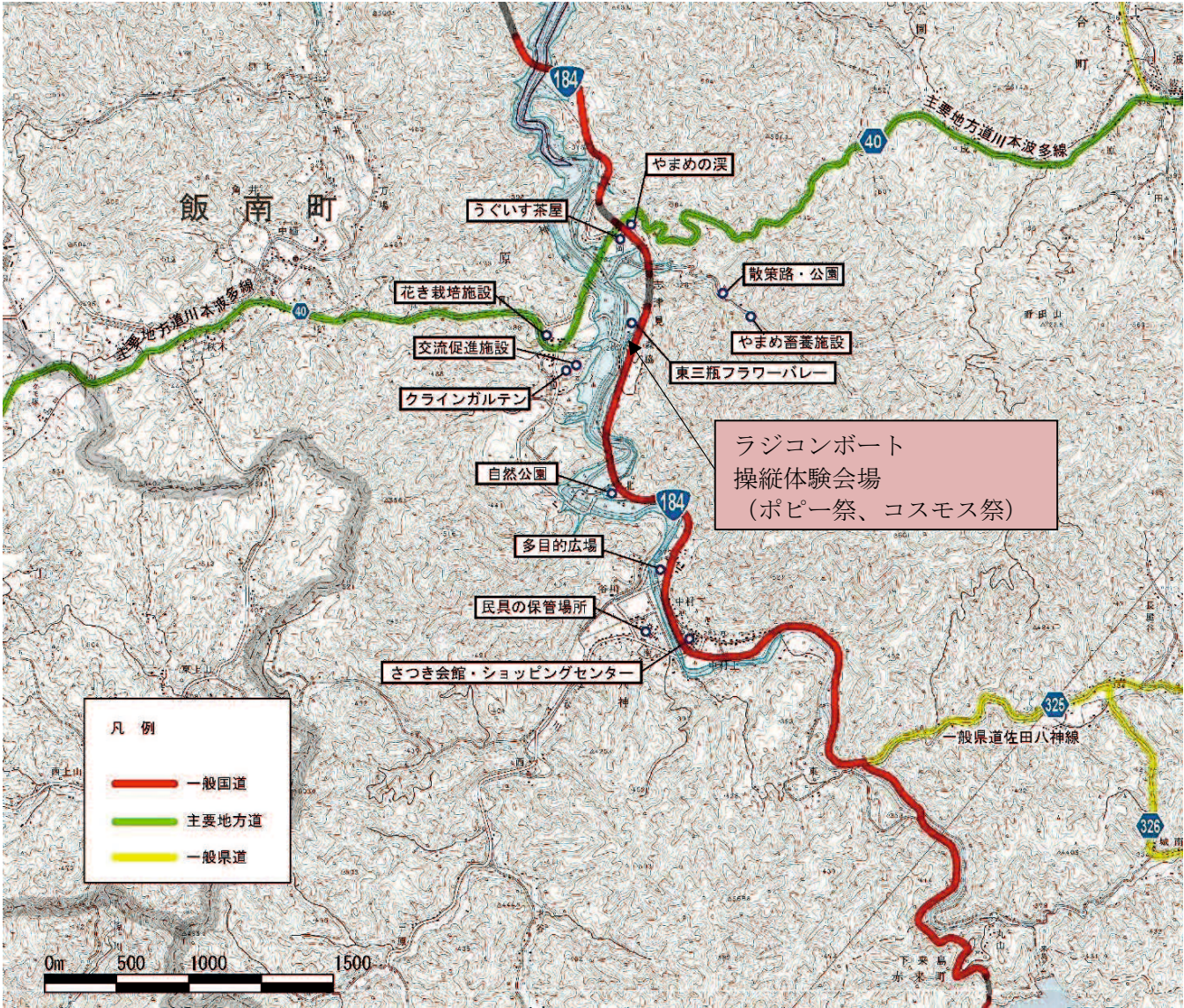
取り組み内容 (全体)	目 的	・水源地域の魅力アピール（上下流の交流の場） ・イベントを通じた地域の活性化 ・周辺整備施設の活用						
	場 所	・フラワーバレーエリア						
	内 容	・ラジコンボートの愛好家が集い、レースと楽しむようなイベントを開催する。 （新規取り組み） 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・H17～18年の2年ほど、志々小学校PTAを対象にプールで実施 ・美郷町カヌーの里との連携検討						
H29 で取り組むべき事項	① ラジコンボート操縦体験の試行実施の継続							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目と役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	カヌー教室の企画	●		●	●	●		
	カヌー教室の講師選定	●		●	●	●		
	資機材調達	●		●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. ラジコンボート操縦体験の実施（ポピー／コスモス祭と同時開催）



ラジコンボート操縦体験（ポピー祭）



ラジコンボート操縦体験（コスモス祭）

資料⑯：フォトコンテストの開催

ポピー祭、コスモス祭で実施しているフォトコンテストに志々地区の見どころをテーマにした内容追加を検討する。

取り組み内容 (全体)	目 的	・ 情報発信 ・ 地域資源の再確認						
	場 所	・ 水源地域（志々地区）						
	内 容	・ 地区の見どころをテーマとしたフォトコンテストを開催する。 【参考】 ＜既存の取り組み内容＞ ・ 景観フォトコンテスト ・ イベントにあわせたフォトコンテスト ・ いーなんの雪携帯フォトコンテスト						
H 2 9 で 取り組む べき事項	① 年間を通した募集を引き続き行う ② 応募数が減少しているため町内 PR を強化							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	コンテストの企画	●		●	●	●		
	コンテストの実施			●				
	コンテストの広報・PR	●		●	●	●		
	作品審査	●		●	●	●		
	賞品準備	●		●	●	●		賞品として、地域の特産品、1日管理支所長、巡視船乗船優待などを検討

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. 年間を通した募集（継続）
（募集期間：2017 年 6 月～2017 年 1 月）
 2. コンテスト入賞作品の展示機会の創出を検討（新規）
・入賞作品の展示機会の創出と、志津見ダム管理支所での PR を検討した。



【H28年受賞作品】

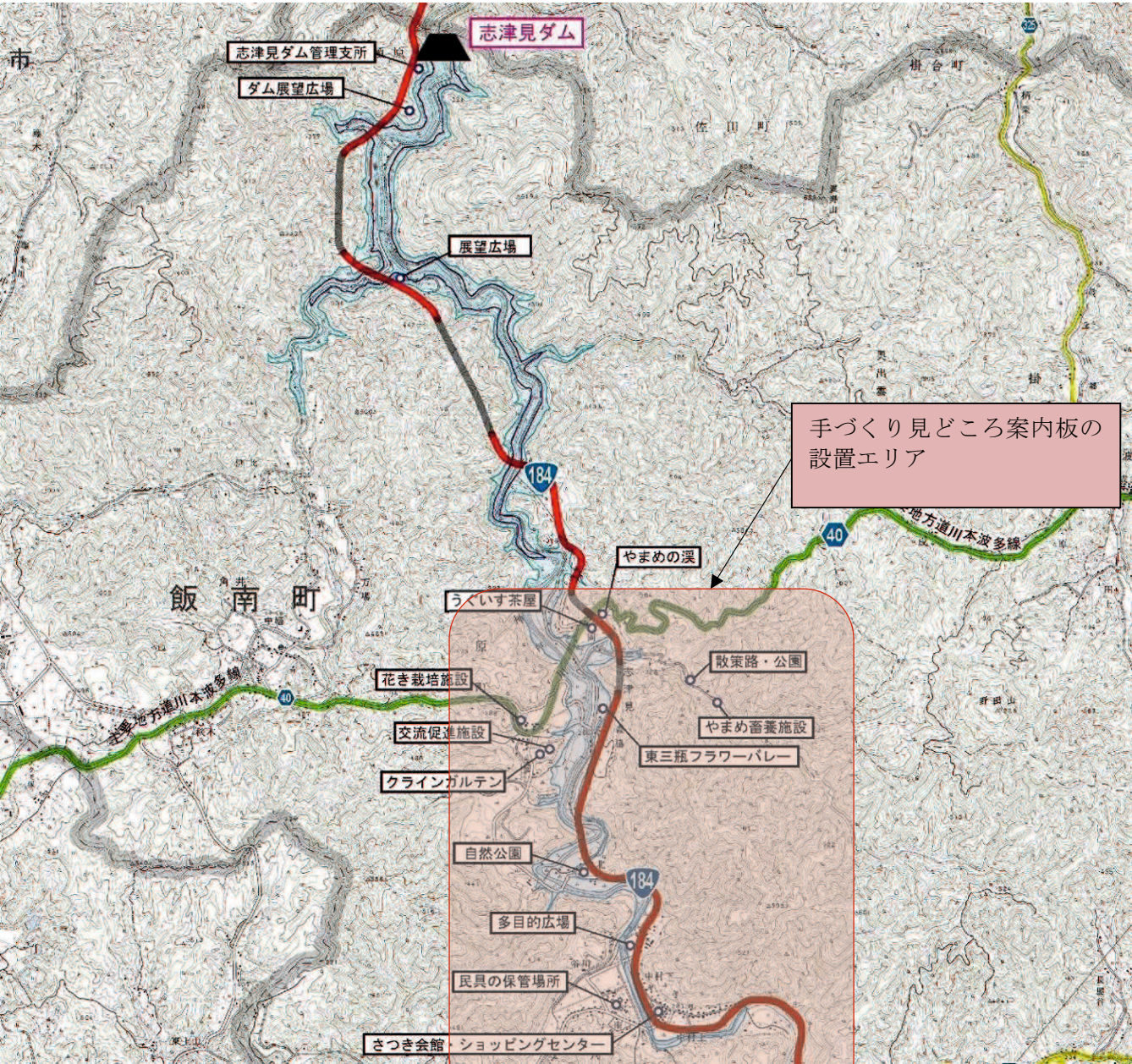


資料⑪：手作り見どころ案内板、マップ（パンフレット）づくり

取り組み 内容 (全体)	目 的	・ 情報発信 ・ 地域資源の再確認						
	場 所	・ 水源地域（志々地区）						
	内 容	・ 行政機関のホームページの改良（見やすくわかりやすい画面） ・ 周辺のダムとの連携（互いに紹介しあう仕組みづくり） ・ ダムのビューポイントの整備とP R						
H 2 9 で 取り組む べき事項	① （手作り見どころ案内板）志々地区内の史跡の手作りによる案内板の作成、設置 ② （マップづくり）地域懇談会の意見を踏まえ対応							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ダムHPのアイディア	●		●	●	●		
	ダムHPの改良					●		
	周辺ダムとの連携方策の 検討	●		●	●	●		
	ダムのビューポイントの 整備				●	●		
	広報			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



- 今年度実施内容
1. 手づくり見どころ案内板の作成、設置（継続）
志々地区内の史跡を中心に、手づくり見どころ案内板を 13 箇所に設置。内容の充実化と追加設置について検討を行った
 2. 八福神マップの検討・作成（新規）
志々を元気にする会及び公民館において八福神を活用した八福神マップ及び紙芝居を作成した。
八福神マップの素案をもちいた「八福神めぐりサイクリング」を試行（11/13、10 人）



＜案内看板の設置＞



＜八福神マップ(案)＞



＜八福神紙芝居(案)＞

資料⑱：田舎体験

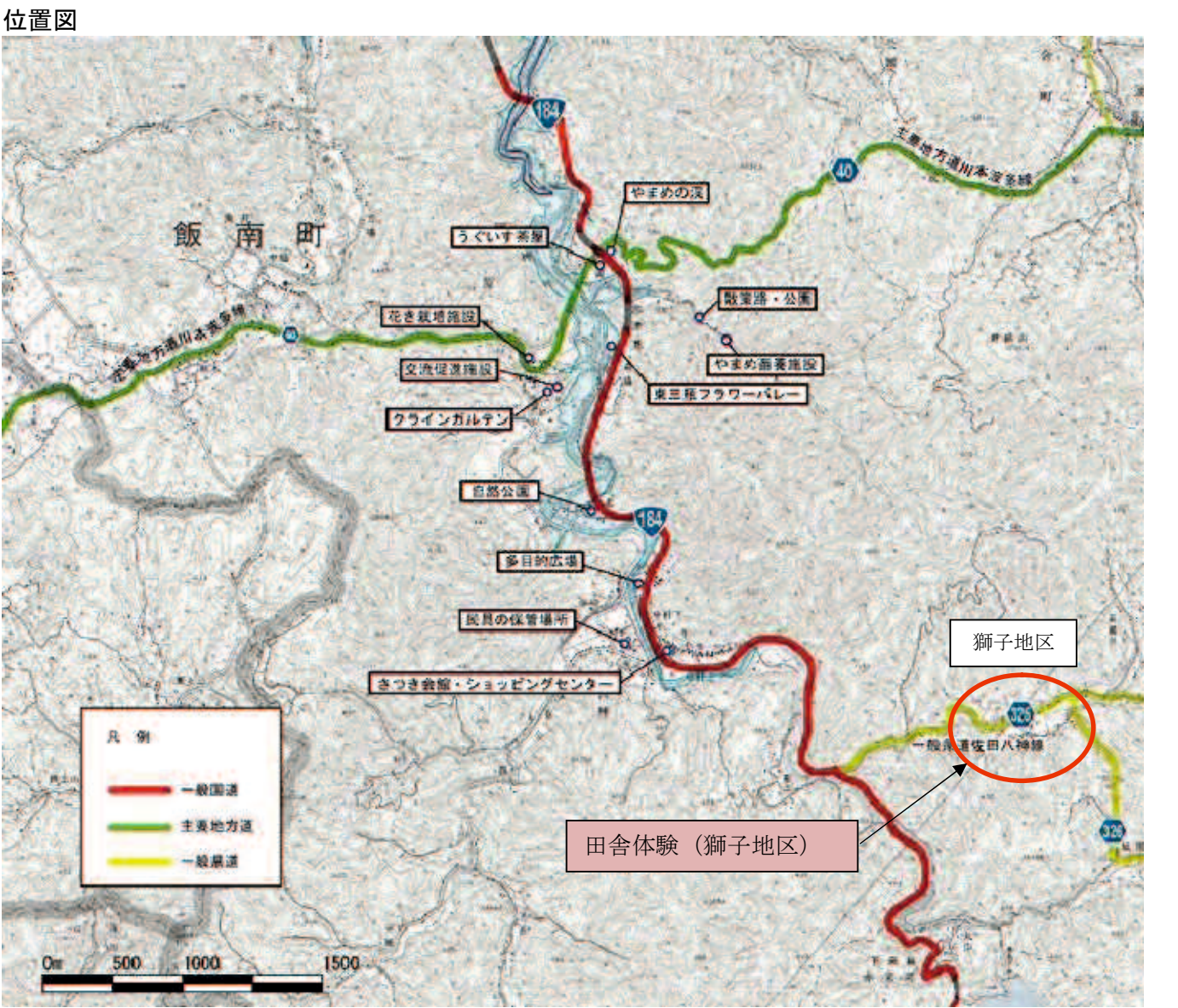
地域の自然や生活、食文化などを体験してもらい、地域への理解と人々の交流を促進する。

取り組み 内容 (全体)	目 的	・生活体験等を通じた水源地域の魅力アピール ・広域的な交流促進						
	場 所	・水源地域						
	内 容	・地域の自然や生活、食文化などの体験プログラムの作成 ・クラインガルテンのラウベの活用や民泊システムを検討 【他のアクションプランとの連携】 ・子供むけ環境学習会の実施 ・ダム見学 ・上下流交流 等との連携						
H 2 9で 取り組む べき事項	① 田舎体験プログラムの他地区展開							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	ツアーの企画						ダムの魅力発信	ツアー会社にて実施
	ダム見学の計画・実施			●	●	●		
	広報、P R			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織

注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。

注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省



- 今年度実施内容

1. ダム見学・田植え体験(5/3-5、13人)

2. 草刈り体験・獣害被害の見学(7/30、11人)

3. 稲刈り体験・観光施設見学(9/9-10、9人)

4. 獅子田舎体験の活動報告会(1/21、28人)

→ 流しそうめん体験や懇親会などで地域の人との交流も深め、大学生は研究テーマとして当該地区を調査

→ 地元の住民からも、継続実施を望む意見が多数あり、定期的なイベントとして定着を見せている
-
- 稲刈り体験
-
- ダム見学
-
- 田植え体験
-
- 流しそうめん体験
- 22

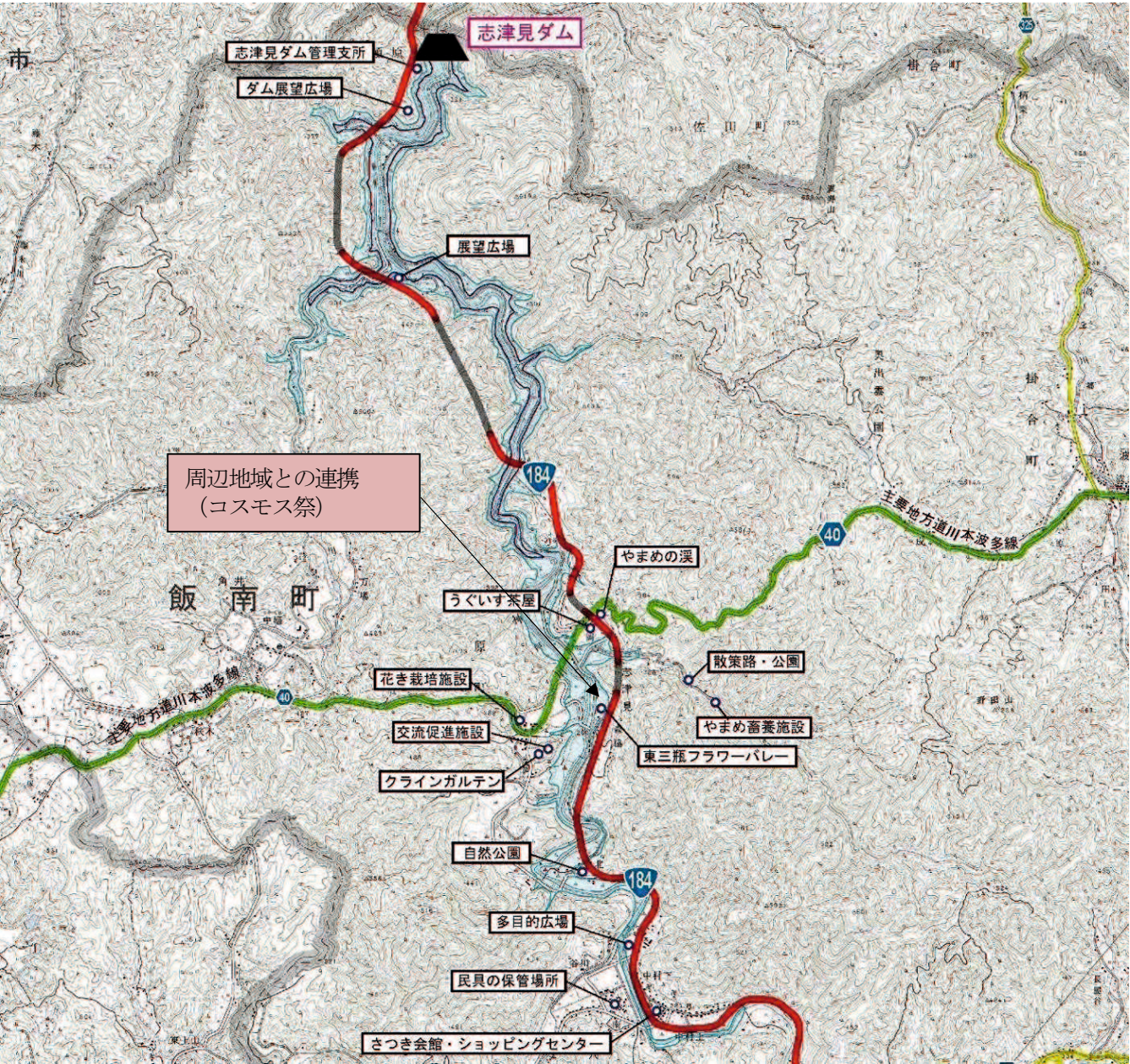
資料⑱：広域的な連携検討

他地区との連携を検討する。

取り組み内容 (全体)	目 的	・他地区からの立ち寄り集客 ・広域的な交流促進						
	場 所	・島根県中東部						
	内 容	・三瓶山（三瓶温泉、島根県立三瓶自然館サヒメル）や石見銀山、出雲市（佐田地区）、雲南市、尾原ダムなど、広域的に連携した観光ルートをつくり広くPRする。 【他のアクションプランとの連携】 ・ 河川と道路の清掃活動 ・ 水生生物調査 ・ ポピー・コスモス祭り 等との連携						
H29で 取り組む べき事項	① 周辺地域（三瓶山周辺）への志津見ダムのPRを行う ② 斐伊川下流域、尾原ダム地域との交流は引き続き行う ③ 広域観光の結節点としての機能強化（情報提供など）							
実施主体	志津見ダム水源地域ビジョン推進委員会							
実施項目 と 役割分担	実施項目	地域	流域	町	県	国	必要な支援内容	備 考
	イベントの企画	●		●	●	●		
	イベントの運営	●		●	●	●		
	広報、PR			●	●	●		

注1：実施主体とは、「志津見ダム水源地域ビジョン」の推進と関係組織相互の協働・連携・支援を図る組織
 注2：実施項目と役割分担の欄の●印は、アクションプランの推進に関わる機関。なお、推進に関わる機関および必要な支援内容については推進段階で検討する。
 注3：「地域」：水源地域住民・団体、「流域」：斐伊川流域などの住民・団体、「町」：飯南町、「県」：島根県、「国」：国土交通省

位置図



■実施内容

1. 企業 CSR への招待
2. 周辺地域との連携
→コスモス祭で国立三瓶青少年交流の家と連携を実施



国立三瓶青少年交流の家との連携(コスモス祭)